

平成 29 年度鹿児島県看護協会 鹿児島地区第 5 回研修会

テーマ：「～みんなで取り組む自殺対策～」

ゲートキーパー養成講座（初級編）」

日時：平成 29 年 11 月 25 日（土）

会場：鹿児島県看護協会 看護研修会館 2 階研修室

講師：鹿児島県臨床心理士会 副会長 児玉さら 先生



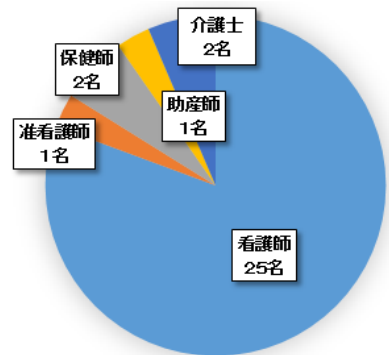
参加者： 32 名

(会員 28 名 非会員 4 名)

アンケート回収： 31 名

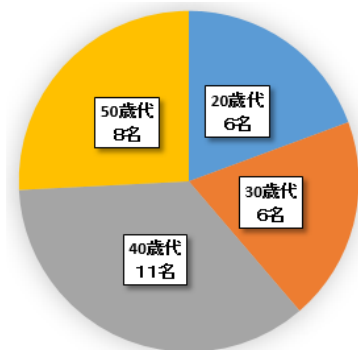
<職種>

看護師	25 名
准看護師	1 名
保健師	2 名
助産師	1 名
介護士	2 名



<年齢>

20 歳代	6 名
30 歳代	6 名
40 歳代	11 名
50 歳代	8 名



<参加動機>

- 1) テーマにひかれたから 27 名
- 2) 人に勧められたから 3 名
- 3) その他 1 名
(自殺予防の活動をしたかったから)

<研修内容>

- 1) とてもよかった 22 名
- 2) よかった 6 名
- 3) ふつう 1 名
(無回答 2 名)

<研修の感想やご意見>

- 自殺（自死）についての詳しい現状を知る事ができた。また正しい知識を得ることができたので、学んだ事を周りにも伝えたい。
- 「心配している」という気持ちの伝え方が難しいと思ったが、きちんと言葉にして伝える事が大切だと理解できたので、学びを実践に繋げたいと思う。
- 気づくことは難しいが、聞き方を工夫する事で相手が苦しんでいる事を引き出すことが可能であることがわかった。曖昧にせず、自身が思う相手の気がかりを言葉で伝えていきたい。
- 支援者の支援も大切とわかった。一人で抱え込まないようにしたい。
- 講義は仕事、プライベートともに役立つ内容だったと思う。
- 3月に企画されている研修にもぜひ参加したい。

<研修の時間、場所についてのご意見>

- ・研修時間、場所ともによかった。

<その他、お気づきのこと>

- ・講義前に鹿児島市からの情報提供があり、状況を把握することができた。

<次回企画してほしい研修について>

- ・グリーフケア
- ・今回の研修内容の具体的な実践に関する事

<研修を終えて>

講義の前に鹿児島市の方から自殺の現状について説明を頂いたあと、～悩んでいる人にあなたができること～と題して講義をしていただきました。日常的にはなかなか話題にし難い内容であるうえにマスコミ等の影響もあるため、曖昧に理解している部分があったのではないのでしょうか。今回の講義は自殺について正しい知識を得るとともに、「心配しているよ」と伝えた方が良いときの見極め方や実際の声のかけ方、かかわり方のポイントまで、多くの事を学ぶ機会となりました。看護職は支援する側となる場合がほとんどです。支援者に起こりやすいストレス症状にも気をつけ、ゆとりを持って接したいですね。学びを実践に活かしましょう。

平成 29 年 11 月 26 日 文責 恒吉里美

～ナースシップ 仲間をふやそう!!～
鹿児島地区の看護協会員数は、6000 人に達しました!!

入会希望の方は
こちらから!!



入会してポイントを貯めよう! 当日入会も
出来ますよ～(*^_^*)/